

4) 河口地区(日立市, 東海村)

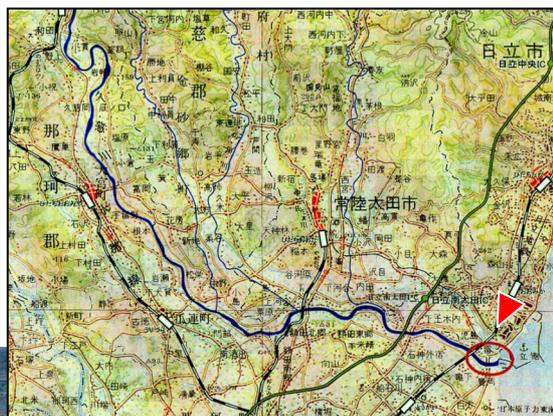
河口部の河床材料は粒径 2mm 程度の砂である。久慈大橋付近は、低水路が狭く、干潮時には干潟が現れ河口は閉鎖傾向にある。

榑橋付近から河口にかけての低地では蛇行の跡が見られ、又旧河川の氾濫原の細粒土の堆積した低地には水田が開かれている。

久慈川の大きな河口域は流域最大の解放水面が広がり、静かな水面として貴重な場所となっている。冬から春にかけて海岸には、ウミネコ、ユリカモメ、セグロカモメなど多くのカモメ類の群れが飛来し、静かな水面で羽を休めている。周辺の海岸沿いには大きな河口は少なく、久慈川の静かな河口は、カモメ類の休息の場として重要な場所となっている。しかし、まとまったヨシ原は少なく、昆虫類等の生息状況は良好とは言い難い状況にある。

また、静水域のため、最近ではジェットスキーなどのマリンスポーツも盛んに行なわれ、生物環境の保全との調和が課題となっている。

河口地区(日立市, 東海村)の位置 ▶



河口地区(日立市, 東海村)の状況

(平成 15 年 11 月撮影)